

令和7年度病虫害防除技術情報 第9号

令和7年8月29日
三重県病虫害防除所

ミナミアオカメムシがダイズで増加しています。
莢伸長期と子実肥大期の2回防除に努めましょう。

1 対 象 作 物:ダイズ

2 対象病虫害名:吸実性カメムシ類(ミナミアオカメムシ)

3 発生状況

- (1) 農業研究所(松阪市)の畑の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数(8月第5半旬)は516頭(平年258頭)と多い状況です(図1)。直近の誘殺数の立ち上がりは平年より5日程度早まっています。
- (2) 1か月予報(8月28日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1カ月の気温は高い見込みで、吸実性カメムシ類の活動に好適な状況が続くことが予想されます。

4 防除対策

- (1) 吸実性カメムシ類による子実の被害を防ぐため、莢伸長期(開花20日後)と子実肥大期(開花40日後)の2回防除に努めましょう。
- (2) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除がより効果的です。
- (3) 水稲ほ場から大豆ほ場へ移動する可能性が高く、今年度は高温傾向により水稲の収穫が平年より早まっているので注意が必要です。
- (4) サチユタカA1号はフクユタカより開花が早いため、より早い防除に努めましょう。
- (5) 薬剤抵抗性発達の回避のため、異なる系統の薬剤のローテーション使用をしてください。
- (6) 薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
(<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>)

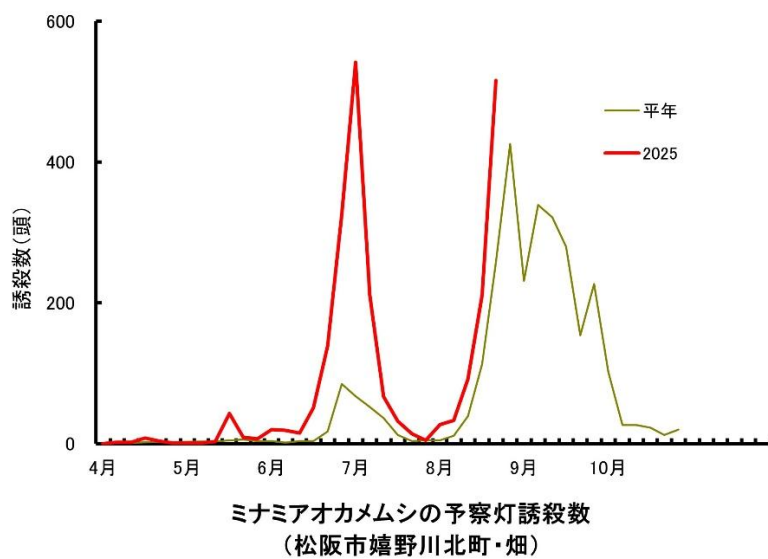


図1 畑予察灯のミナミアオカメムシ誘殺数(松阪市)



写真1 ミナミアオカメムシの幼虫(左)と成虫(右)

幼虫と成虫の色、模様が大きく違います。気を付けて観察しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

予報発行時のeメール連絡サービス(病虫害情報メール)の登録はこちら↓

